

世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台 2019 仙台市主催セッション  
「防災まちづくりと女性のリーダーシップ」開催結果概要

1. 日時 令和元年 11 月 10 日（日） 14：00～15：30
2. 会場 仙台国際センター会議棟 萩
3. 主催 仙台市（市民局男女共同参画課）、公益財団法人せんだい男女共同参画財団
4. 入場者数 104 人（うち外国人 7 人）
5. 登壇者
  - コーディネーター  
大崎 麻子氏（関西学院大学 客員教授、特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事）
  - スピーカー  
佐藤 尚美氏（一般社団法人ウィーアワン北上 代表理事）  
谷津 尚美氏（認定特定非営利活動法人アフタースクールぱるけ 代表理事  
※地域版女性リーダー育成プログラム「決める・動く 2016」修了者）  
繁野 みど里氏（仙台市太白区西多賀北町内会 会長、せんだい女性防災リーダーネットワーク  
※地域版女性リーダー育成プログラム「決める・動く 2017」修了者）  
山内 功氏（仙台市泉区山の寺連合町内会 会長）  
木須 八重子氏（特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事、  
公益財団法人せんだい男女共同参画財団理事長）

6. 内容

各スピーカーから防災・復興における女性のリーダーシップ促進や多様な主体を巻き込んだコミュニティづくりなど、東日本大震災からこれまでの取り組み事例について報告。地域の実情に応じた草の根の活動の積み重ねこそが、仙台防災枠組が目指す災害に強い社会づくりや社会変革のための重要なプロセスであり、平常時から地域における意思決定の場に女性をはじめ多様な主体が参画していくことの必要性をあらためて確認し合った。

7. 参加者からの声（アンケートより）

- ・今後のまちづくりにおける女性の活躍の方向性がみえた討論だった。
- ・各スピーカーの皆さんの実例をあげてのお話がわかりやすく、参考になった。
- ・自分たちの住む地域から着々と変革を進めている姿に刺激を受けた。
- ・地域の住民が自ら考え、行動できるようにするためにはどうしたらいいか考えていきたい。
- ・女性が参画しやすいしくみづくりを工夫して進めたい。
- ・地域に戻り、今日聞いた取り組みをさっそく提案してみたい。
- ・他団体や組織とつながり、孤独にならないよう助け合うしくみづくりの必要性を感じた。



会場の様子



コーディネーター：大崎 麻子氏



スピーカー：佐藤 尚美氏



スピーカー：谷津 尚美氏



スピーカー：繁野 みど里氏



スピーカー：山内 功氏



スピーカー：木須 八重子氏